インターフェースユニット EP−100

取扱説明書

1版

株式会社 京栄

目次

安全上のご注意

・ご使用の前に

本製品をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。
特に接続方法および操作説明などにおける指示・警告事項は安全上重要な項目です。お読みの上、正しくお使い下さい。

・警告表示の意味

⚠マークは注意（警告を含む）を、促す内容があることを告げるものです

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を追う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています

⚠　注意

○ご使用になる前に、必ず取扱説明書（本書）をお読み下さい。

1. 概要

本機は、フラッシュプログラマ I.S.P-310 にてプログラミングを行う時、電圧供給が必要なデバイスに対し、必要な電圧を供給する機能を持つインタフェースユニットです。このインタフェースユニットを I.S.P-310 に接続する事で さらに多種のデバイスに書き込むことが可能になります。

2. 特徴

1. ターゲット電源 VDD は、5V または 3.3V を、選択出来ます。電源は、本体より選択された電圧を供給することも可能です。
2. 書き込み電源 VDDL、VPPは、デバイスの種類により必要に応じて、印加されます。
3. 各電源の印加は、LEDで表示します。電源投入状態がモニタ出来ます。

3. 構成

この製品の構成は以下の通りです。

No.	内容	
1	インターフェースユニット本体	1 台
2	接続ケーブル	1 本
3	ACアダプタ	1 台
4	取扱説明書	1 部
5	保証書	1 枚

4.　各部の外観と主な機能

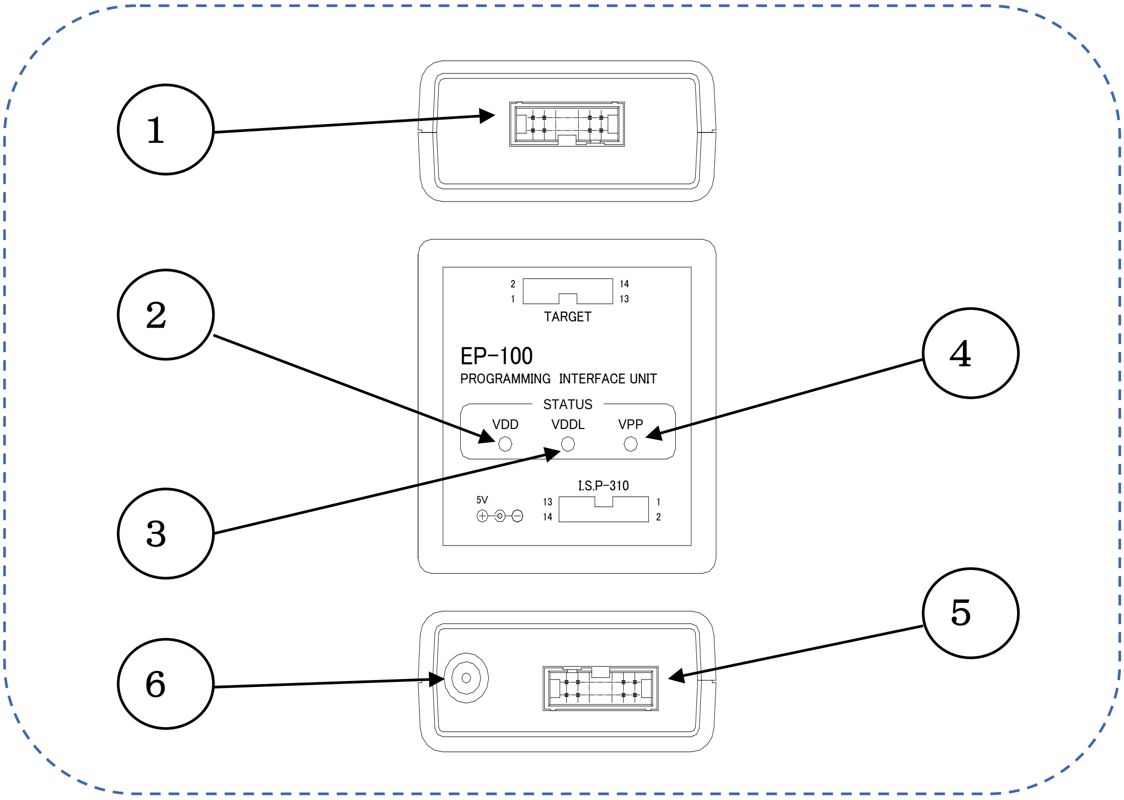


fig 1　各部の外観と主な機能

・詳細

箇所	名称	内容
①	ターゲットコネクタ	ターゲットへ接続する　接続ケーブルを接続します
②	VDD モニタ	VDDが印加された時、LEDが点灯します
③	VDDL モニタ	VDDLが印加された時、LEDが点灯します
④	VPP モニタ	VPPが印加された時、LEDが点灯します
⑤	I.S.P-310 コネクタ	I.S.P-310 と接続します
⑥	AC アダプタコネクタ	AC アダプタを接続します　付属品の AC アダプタを接続ください

5. 接続

1. Fig 2を参照して接続して下さい。
2. ACアダプタは、付属のアダプタを使用ください
3. 電源VDDの供給は、ターゲット側または本体から供給できます。必要に応じ、設定で対応できます。本体側とターゲット側で同時に供給は出来ませんので注意ください。

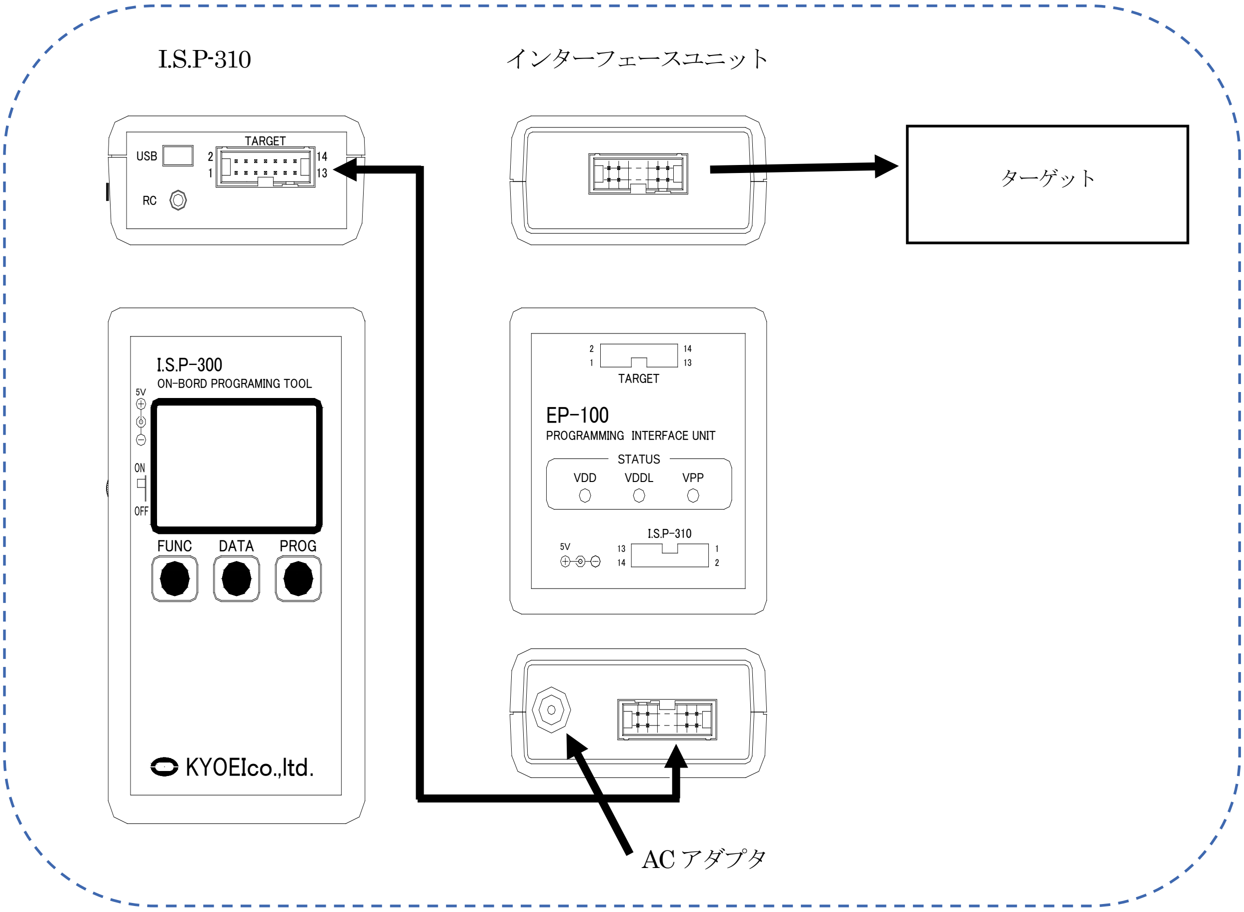


Fig 2 接続方法

⚠ 注意

接続は、充分注意し行ってください。接続を誤ると予期せぬ装置の故障や 永久破壊、火災に至ることがあります。

6. 設定、信号

ターゲットにプログラムを書込む場合、ターゲットの仕様により VDD,VDDL,VPP 等を設定する必要があります。詳しくは、I.S.P-310 の取扱説明書および接続表を参照し、設定下さい。 インターフェースユニットは、I.S.P-310 により制御されたタイミングで各電圧を、出力します。また、制御信号は以下のコネクタ配列になっています

1. ライター側 ライター側（I.S.P−310）の信号は、以下になります。

コネクタ XG4C−1434（オムロン相当）

No,	信号名	内容
1	CON1	ターゲットの RESET へ接続されます
2	GND	ターゲットの GND へ接続されます
3	CON3	ターゲットへの VDD 3.3V／5V を設定します
4	CON4	ターゲットへ VDD 出力を ON/OFF します。
5	CON5	ターゲットの TEST へ接続されます
6	CON6	ターゲットへ VDDL 出力を ON/OFF します。
7	CON7	ターゲットの TEST へ接続されます
8	Vcc	ターゲットの電源を検知します
9	CON9	ターゲットへの VDDL 1.4V／2.65V を設定します
10	CON10	ターゲットへ VPP 出力を ON/OFF します。
11	CON11	未使用
12	GND	ターゲットの GND へ接続されます
13	CON13	ターゲットの VDD モニタを ON/OFF します。
14	GND	ターゲットの GND へ接続されます

2. ターゲット側 ターゲット側の信号は、以下になります。

コネクタ XG4C−1434（オムロン相当）

No,	信号名	内容
1	VTref	ターゲットの VDD と接続します。電圧モニタ用です
2	VSS	ターゲットの GND と接続します
3	VPP	ターゲットの VPP と接続 します（注）
4	VSS	ターゲットの GND と接続します
5	RESET	ターゲットの RESET と接続します
6	VSS	ターゲットの GND と接続します
７	TEST	ターゲットの TEST と接続します
8	VSS	ターゲットの GND と接続します
9	VDDL	ターゲットへの VDDL と接続します （注）
10	VSS	ターゲットの GND と接続します
11	NC	未使用
12	VSS	ターゲットの GND と接続します
13	VDD	ターゲットの VDD と接続 （注）
14	NC	未使用

注：デバイスおよび回路構成により接続が不要の場合があります。

7. 操作

I.S.P-310、インターフェースユニット、ターゲットの接続を確認後、各々の電源を投入下さい。接続が正しいことを再確認し、I.S.P-310 の取扱説明書を参照の上、ターゲットデバイスの書込を行って下さい。

8. 仕様

1，供給電源

1−1 電源（VDD）	3.3V±5% 200mA または 5V±5% 200mA を選択
1−2 ロジック電源（VDDL）	1.4V（1.25V〜1.45V） 20mA または 2.62V（2.52V〜2.72V） 20mA
1−3 書込電源（VPP）	8V（7.7V〜8.3V） 10mA

2，モニタ LED

2−1 電源（VDD）	供給中 LED 点灯（ミドリ）
2−2 ロジック電源（VDDL）	供給中 LED 点灯（アカ）
2−3 書込電源（VPP）	供給中 LED 点灯（アカ）

3，通信

3−1 通信	I.S.P−310 よりターゲット CPU （TEST、RESET 端子）を接続し書込が可能

4，電源

4−1 電源供給	インターフェースユニット本体へ 5V±5%の電源を AC アダプタから受電します

5，一般仕様

5−1 外形	66.5（W）×66.5（H）×28（D）
5−2 重量	約 60g
5−3 温度範囲	使用温度 0〜40℃ 、保存温度 0〜50℃

9. 改訂履歴

版 番号	Rev	日付	改訂概要
1	1.00	2013/04/12	新規

EP-100 インターフェースユニット 取扱説明書

38 -371 - 8000
発行日・版数
2013 年 04 月 12 日
第 1 版

著者発行所
株式会社 京栄

〒186-0011 東京都国立市谷保5826-1
TEL 042-577-3955
FAX 042-580-7222
Mail kyoei@k-kyoei.jp
URL http://www.k-kyoei.jp